

形 式：

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Technical details of intraoperative lymphatic mapping for early stage melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ12-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（IV）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Surg	
	雑誌 ID		
	巻	127	
	号	4	
	ページ	392-9	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1992	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Morton DL	John Wayne Institute for Cancer Treatment and Research, St John's Hospital and Health Center, Santa Monica, Calif
	その他著者 1	Wen DR	
	その他著者 2	Wong JH	
	その他著者 3	Essner, R.	
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		

	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	早期メラノーマの術中 SLNB の有用性の検討	
	研究デザイン		
	セッティング	John Wayne Cancer Institute	
	対象者	臨床的にリンパ節転移のない原発性黒色腫患者	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	SLNの同定率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	リンパ節転移	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	色素法による SLN の同定法 ① 194/237 領域の SLN を同定した。 ② 40/194 領域(21%)に転移を認めた。 ③ HE で 12%、免疫染色法で 9 %の転移を発見した。 ④ 47/259 個の SLN に転移を認めた(18%)。 ⑤ 偽陰性(FN)は 2/3079 個の SLN に認めた(1%以下)。	
	結論	正診率 99%以上、偽陰性(FN)は 1%以下。 SLNB は radical LND よりも有用である。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	清原 祥夫	

	レビューワーコメント	Morton らによって確立された SLNB は外科手術療法における画期的方法となった。高い正診率(99%以上)と、低侵襲な手法は早期メラノーマの正確な staging に非常に有用である。SLNB は radical LND よりも有用である。
--	------------	---